

提言第15号 薬剤の誤投与に係る死亡事例の分析

事例2

< 事例概要 >

処方時に間違いがあり禁忌薬投与に至った

ワイスタール（セフォペラゾンナトリウム・スルバクタムナトリウム）：抗菌薬

- ・ 70 歳代、胆管炎

- ・ 発熱のため、救急外来を受診。紙カルテにスルペラゾン、ワイスタールのアレルギー情報の記載はされていたが、カルテを確認せずにワイスタール配合点滴静注用を処方、全ての工程でアレルギー情報が確認されず、点滴を投与した。

- ・ 点滴投与開始直後、喉の痒みを訴え意識消失し、当日死亡。

- ・ 死因は、アナフィラキシーショック、死亡時画像診断（Ai）無、解剖有。